

令和6(2024)年度事業計画(案)

(一社)千代田エコシステム推進協議会

<EMS 部門クラスⅢ事業>

(1) EMS事業

■ 事業内容

- ・一般事業者への認知拡大

『CES クラスⅢガイド』を全面改訂し、発行する。

新たに発行するガイド(以下、「新ガイド」という。)は、イベントでの案内や、ホームページ等における情報発信を通じて、認知拡大を図る。

なお現在、認証取得済みの事業者に対しては、新ガイドの発行後、3年程度の移行期間を設けることとする。事前に訪問による説明を行い、円滑な移行を支援する。

- ・千代田区の監査

令和5年度から区が一つの単位として認証を受けることに変更となったが、令和6年度も、地球温暖化対策推進本部事務局(事業者の代表)及び20部署程度を選出し、監査を実施する。

監査前に監査員を対象として、監査に必要な知識、技能及び手順の習得を目的とした研修を実施する。

(2) 監査実施予定

- ・一般事業者

現在、CES クラスⅢの認証を取得している7事業者を予定。

- ・千代田区

監査員研修を受講した監査員が監査を行う。

監査員による監査の際は、主任監査員が立会う。また、監査員の力量の向上のため、主任監査員が実施する監査に監査員が立会う。

(3) CES 認証委員会

■ 事業内容

- ・監査終了後に、年に2回、CES 認証委員会(第三者機関)を開催予定。

認証された事業者に対しては、ロゴマーク入りの認証書を発行する。

監査を通じて、環境活動における工夫や努力が見られ、他の模範となる取組みを行っている事業者(区の監査の場合は、部署)に対し、CES 協議会が表彰する。

<事業者部門>

(4) 環境配慮宣言事業

■ 事業内容

CES クラスⅢ事業の監査では個人事業者には時間及び費用面で負担が大きいため、参加していない。しかし、独自に環境に配慮する活動の提案と実施を継続している店舗に対し「環境配慮宣言」のステッカーを配付し、店舗に掲示を依頼している。

また、近年コロナ禍で来客の減少や、レジ袋の有料化で苦慮を余儀なくされている個人事業者に役立ててもらおうことを考え、エコバッグの配布を行ってきた。一昨年より、従来の紺色から明るい水色に変更し材質は再不織布を使用し資源の再利用を図り、表面には「Eco Friendly」のロゴを入れた。

多くの事業者から「お客様に喜んでいただけた」と追加配布の依頼があったが、逆に「もう少し大きい方が良い」と言った様々な感想もあった。概ね好評であり来年度も規格を2種類にして色は紺色に戻し同様の企画を計画している。

<普及啓発部門>

(5) 環境学習・教育関連事業（教材発行事業）

■ 事業内容

- ・令和5（2023）年度は、令和4（2022）年度に作成した環境学習・教育カードを、教育機関（小学校から大学）や企業または地域住民の研修に効果的に使用し、学び続けてもらうための方法について検討した。
- ・令和6（2024）年度は、ゲーミフィケーションの視点も加味しながら、今年度の方法を実践しつつ、カードの内容や使い方も再検討する。また、その成果を12月に開催されるエコプロに出展したり、所属学会で報告する予定である。

(6) 再開発ビル等の自然エネルギー利用施設見学会・シンポジウム・講演会開催

■ 事業内容

- ・自然・再生エネルギー利用技術の見学
地中熱利用・地熱発電・太陽光発電・水力発電・風力発電・食品残渣のバイオ発電等 ZEB の見学
- ・環境講演会の開催案
令和4年度に実施した『木造建築による中高層建築物の推進』については、シリーズ化も視野に入れており、5年度は森林環境税・森林環境譲与税について特別区の活動の講演を行い、今年度では林野庁及び経済産業省より講師として招き、補助金の種類や申請方法についての説明を依頼することを検討中

(7) CES エコフェアの開催

■ 事業内容

環境活動をする企業・団体・個人・大学・学校の活動を区民に周知し、お互いに情報交換やコミュニケーションをとる場をつくることを目的にイベントの開催を行う。来年度は11月9日(土)に、区と共催での実施を前提として参加ブースを増やす方向で考えており、区役所1Fの区民ホールと4階の会議室を借切り、発表のためのイベントを開催予定。

(8) CES 環境活動普及助成制度事業

■ 募集要項の改正について

「千代田区キャンパスコンソ」でもこの事業を説明したが、今まで申請数が少ない原因である短い募集期間等を改善し、一層の周知活動を行う予定。
また、区のホームページにも掲載することを検討している。

(9) PR活動

■ 事業内容

CESが発信する環境問題に対する取り組みや情報を、どの様に区民及び区内事業者へ伝えたら効果的か検討することが急務である。
一つの方法として昨年度同様、環境配慮宣言事業で作成したCESの名前及びキャッチフレーズ入りの「エコバッグ」を古本まつりで書籍購入の方に配布し使用してもらう予定。

(10) 情報誌の発行

■ 事業内容

会報「CES 通信 vol.13~14」の発行

CES活動の普及並びに千代田区のCO₂削減に関心を寄せてもらうことを目的とする。
会員・事業関係者・事業所・出張所を対象に、活動報告・イベント案内・会員からの投稿をメインに作成し、年間2回発行する。

《全体事業》

(11) 区との協働事業

■ 事業内容

(7)のエコフェア(仮称)及び「CESの見直しについて」検討会の実施

以上